

紀の川市難病患者・家族会 きほく 御中

会長 神森 和子 様

平素は公立那賀病院の運営にご理解ご協力を賜りまして厚くお礼申し上げます。

さて、この度ご要望書を賜りました、耳鼻咽喉科の診療体制につきましては、当院と致しましても何とか従来の2名体制の再編を切望し、県立医大耳鼻咽喉科教室等に嘆願しているところでございます。

診療科目に依るところもございますが、耳鼻咽喉科の医師は比較的早期に閉業される傾向があるようで、今回も当院医師の閉業により、1名減員となった次第でございます。

昨今の医師不足に加え、県立医大耳鼻咽喉科への入局者が少なく、当院のような関連病院勤務医の閉業に依る退職（減員）の補充については、教室としても苦慮されているようでございます。

患者会の皆さまに於かれましては、大変ご不便とご迷惑をおかけ致しまして申し訳ございません。

那賀保健医療圏の基幹病院として、引続き県立医大、県・医務課等に診療科及び、診療体制の充実と向上を懇請して参ります。

今後ともご支援ご鞭撻賜りますようよろしくお願い申し上げます。

令和4年4月12日

公立那賀病院

院長 中尾 大哉

ら回答を頂きました。



つきましては先日、那賀病院から回答を頂きました。つきましては先日、那賀病院から回答を頂きました。

# 那賀病院から回答

事務局

前号でお知らせしました那賀病院への耳鼻咽喉科診療体制を医師2名担当に戻してもらいたいという要望書に關しまして、神森和子会長自ら提出していただきました。

回答書にあるとおり、医師の減少や閉業医として退職するなどの理由によって、派遣が困難になっていることは患者にとりて如何ともしがたいことではあります。

しかし、神森会長が那賀病院当局者から聞いた言葉は「患者さんから声を上げていただかないと私たちも動くことができないのです。ぜひこれからも色々教えて下さい」とのことでした。

当日は病院内の見にくく分かりにくい案内板などを指摘すると、早速改善してくれたそうです。やはり当事者が声を上げることが大切なのですね。

# きほく通信

第91号  
令和4年  
7月8日  
発行

難病  
患者家族会  
きほく

【会長】 神森 和子  
紀の川市中三谷  
【相談室】 0736(75)4413  
【事務局】 〒649-6612 紀の川市北涌371  
森田方 ☎0736(75)4413

## 熱中症に注意

今年は何年になく早々に梅雨明けとなり、その後まるで熱帯地方かと思わせるような猛暑が続いています。

今まで30度越えが異常と思われていたものが、今では35度越えがあたりまえとなってきました。ましてや暑熱馴化という暑さに慣れる期間もなく、節電が声高に叫ばれるとエアコンの節約も重なって熱中症の危険も高まっています。

患者当事者にとりては、コロナ禍の医療環境の変化も重なって体調を崩す方も多くなっています。

家において温度・湿度が高い中、エアコンの節約で我慢していると、水分不足が気づかないことも多いと言われます。

日中の外出は控え、適度にエアコンを使い、しっかり睡眠をとることの大切さも報じられています。

今までの暑さとは違うのだということを強く認識する必要があります。

ちなみに昔から、夏の土用には「う」のつく食べ物

がいいという謂れがあります。

・うなぎ ・うめぼし ・うどん ・ういろう ・うり類

何とぞ無理せず、療養しながらこの夏を乗り越えましょう。

